

# 第一編 平成22年度の市町村税決算の概況

# 1. 市町村歳入と市町村税収入

## (1) 市町村税収入額の推移

市町村税の収入額は、平成17年度(8,900億円)以降は20年度まで上昇が続いていたが、22年度も昨年に続いて低下し、9,489億円の収入となった。前年度と比較すると、152億円(-1.6%)の減収である。

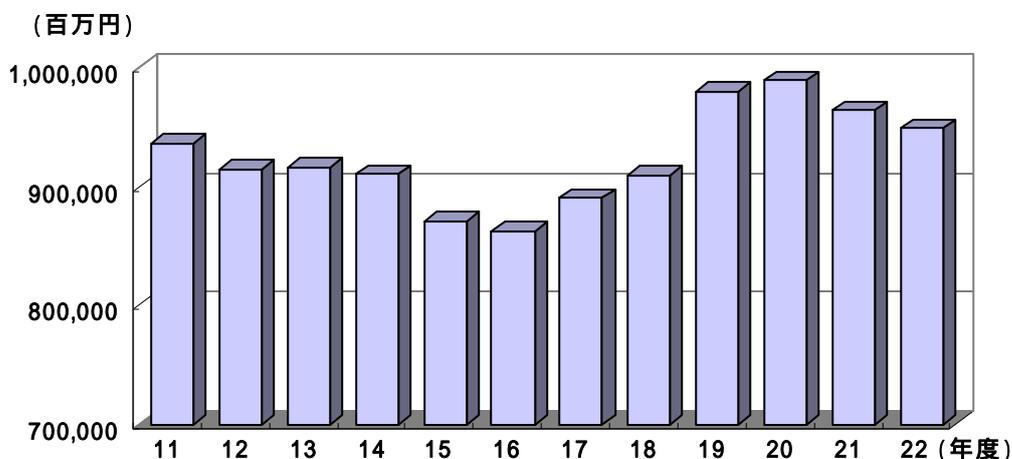
1-1-1表 市町村税収入額の推移

(単位:百万円、%)

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
千葉県	税収入額A	936,327	914,139	916,556	910,608	871,421	862,704	890,003	909,510	979,975	989,214	964,083	948,868
	歳入総額B	1,892,464	1,797,515	1,832,155	1,807,724	1,819,446	1,816,688	1,815,238	1,800,714	1,829,788	1,828,931	1,977,991	2,001,840
	A/B (%)	49.5	50.9	50.0	50.4	47.9	47.5	49.0	50.5	53.6	54.1	48.7	47.4
全国	税収入額A	18,593,132	18,090,312	18,142,477	17,822,288	17,239,738	17,231,954	17,667,049	18,160,960	19,472,842	19,546,461	18,674,113	18,384,012
	歳入総額B	55,507,450	52,804,183	52,938,099	51,796,561	51,195,752	50,650,037	50,478,606	49,361,930	49,499,476	50,213,527	53,554,717	53,854,025
	A/B (%)	33.5	34.3	34.3	34.4	33.7	34.0	35.0	36.8	39.3	38.9	34.9	34.1

全国の数値は「平成24年度地方税に関する参考計数資料(総務省)より抜粋。

1-1-1図 市町村税収入の推移(千葉県)



## (2) 歳入総額に占める市町村税収入額の割合

県内全市町村の平成22年度の歳入総額(2兆20億円)に占める市町村税収入額(9,489億円)の割合は、前年度より1.3ポイント減少し、47.4%となり、昨年度と同様に50%を下回った。

歳入総額が前年度と比較して238億円(1.2%)上昇した一方、市町村税収入額が前年度と比較して152億円(1.6%)減少した。

なお、全国の歳入総額に占める市町村税の割合は、対前年比で0.8ポイント減少した。

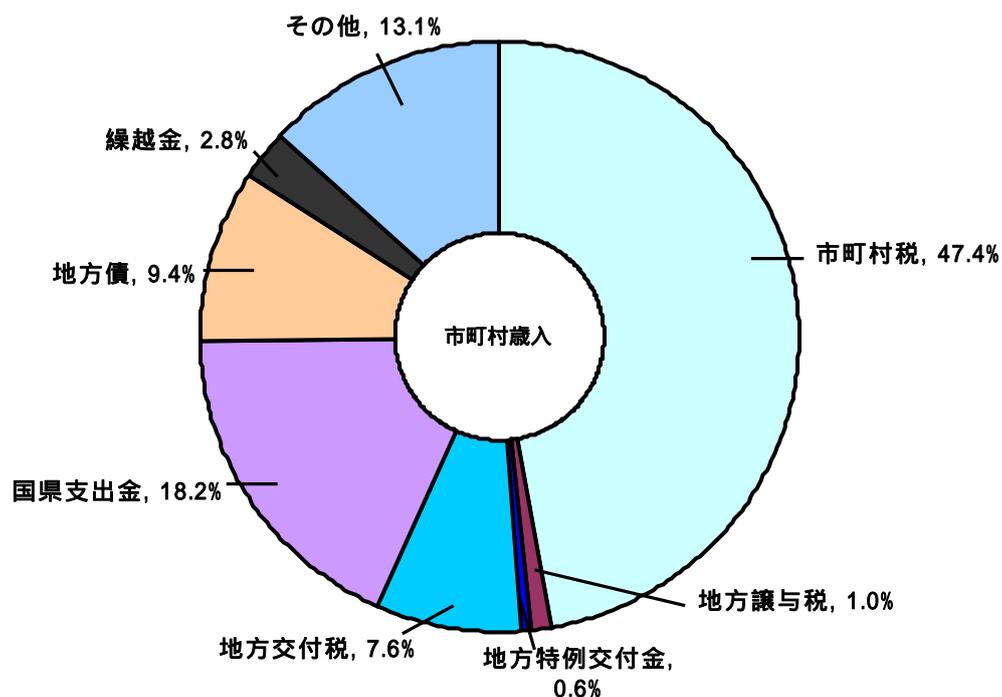
1 - 1 - 2表 市町村歳入の構成割合

(単位:百万円, %)

年度	18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		
	金額	構成割合	金額	構成割合	金額	構成割合	金額	構成割合 (A)	金額	構成割合 (B)	
歳入内訳											
千葉県	市町村税	909,510	50.5	979,975	53.6	989,214	54.1	964,083	48.7	948,868	47.4
	地方譲与税	60,589	3.4	21,182	1.2	20,375	1.1	19,057	1.0	19,058	1.0
	地方特例交付金等	27,167	1.5	6,072	0.3	12,074	0.7	11,869	0.6	11,329	0.6
	地方交付税	111,903	6.2	103,543	5.7	108,717	5.9	116,851	5.9	151,396	7.6
	国県支出金	202,593	11.2	227,370	12.4	249,169	13.6	359,142	18.2	365,277	18.2
	地方債	162,042	9.0	161,363	8.8	137,157	7.5	167,563	8.5	187,815	9.4
	繰越金	55,641	3.1	51,991	2.8	50,273	2.7	63,127	3.2	56,576	2.9
	その他	271,269	15.1	278,292	15.2	261,953	14.3	276,298	14.0	261,521	13.1
	歳入合計	1,800,714	100.0	1,829,788	100.0	1,828,931	100.0	1,977,991	100.0	2,001,840	100.0
	全国	市町村税	18,160,960	36.8	19,472,842	39.3	19,546,461	39.3	18,674,113	34.9	18,384,012
歳入合計		49,361,930	100.0	49,499,476	100.0	50,213,527	100.0	53,554,717	100.0	53,854,025	100.0

- (注) 1 市町村税には、東京都が徴収した市町村税相当額は含まない。  
 2 構成割合の計は端数処理の関係で必ずしも一致しない。  
 3 H19年度の地方特例交付金等については、特別交付金を含む。

1 - 1 - 2図 平成22年度市町村歳入の構成割合 (千葉県)



次に税収割合を市町村別にみると1 - 1 - 3、4表のとおりである。これによれば、市部が高く(市平均48.3%)、町村部が低く(町村平均30.0%)なっている。

また、税収割合の高い団体、低い団体を見てみると、地域的には東葛飾、葛南、千葉、印旛、君津地域等のうち、人口の多い地域や大企業、工場等の立地する地域に高い団体が多く、団体間に格差が生じている。

1 - 1 - 3表 税収割合の高い団体，低い団体

	21年度(%)				22年度(%)				
税収割合の高い団体	浦	安	市	63.0	袖	ケ	浦	市	63.6
	袖	ケ	浦	62.7	浦	安	市	60.7	
	市	川	市	59.1	富	津	市	58.4	
	船	橋	市	58.5	市	原	市	58.0	
	佐	倉	市	57.8	市	川	市	57.9	
	富	津	市	55.8	船	橋	市	56.5	
	君	津	市	55.1	佐	倉	市	55.5	
	松	戸	市	54.8	柏		市	54.1	
	市	原	市	54.7	流	山	市	54.1	
	習	志	野	53.9	成	田	市	52.6	
税収割合の低い団体	南	房	総	14.6	南	房	総	15.7	
	鋸	南	市	18.8	鋸	南	市	17.0	
	い	す	み	22.0	大	多	喜	20.3	
	横	芝	光	22.1	い	す	み	21.4	
	大	多	喜	23.9	睦	沢	市	22.3	
	旭		市	24.2	横	芝	光	22.8	
	睦	沢	市	24.5	旭		市	23.5	
	山	武	市	24.6	山	武	市	23.9	
	匝	瑳	市	26.0	東	庄	市	24.1	
	東	庄	町	26.0	鴨	川	市	24.6	
市計			49.7				48.3		
町村計			31.6				30.0		
県計			48.7				47.4		

1-1-4表 平成22年度税収入割合

(単位:千円, %)

市町村名	区分	平成22年度			前年度 割合 (D)	増減 C - D
		歳入総額 (A)	税収総額 (B)	B / A (C)		
1	千 葉 市	371,566,327	169,515,444	45.6	48.1	2.5
2	銚 子 市	27,109,338	8,208,424	30.3	34.4	4.1
3	市 川 市	133,362,105	77,249,666	57.9	59.1	1.2
4	船 橋 市	164,434,997	92,937,548	56.5	58.5	2.0
5	館 山 市	18,106,340	6,087,830	33.6	34.3	0.7
6	木 更 津 市	37,594,212	16,978,090	45.2	46.8	1.6
7	松 戸 市	127,931,094	66,969,854	52.3	54.8	2.5
8	野 田 市	46,281,691	21,992,727	47.5	48.7	1.2
9	茂 原 市	27,836,218	13,336,125	47.9	49.9	2.0
10	成 田 市	58,325,105	30,664,600	52.6	50.2	2.4
11	佐 倉 市	43,461,884	24,128,631	55.5	57.8	2.3
12	東 金 市	20,088,961	7,808,136	38.9	39.2	0.3
13	旭 市	29,174,000	6,856,179	23.5	24.2	0.7
14	習 志 野 市	49,703,677	25,287,440	50.9	53.9	3.0
15	柏 市	115,103,478	62,265,461	54.1	53.3	0.8
16	勝 浦 市	8,856,658	2,197,622	24.8	28.3	3.5
17	市 原 市	84,482,591	48,980,610	58.0	54.7	3.3
18	流 山 市	41,671,308	22,538,573	54.1	53.7	0.4
19	八 千 代 市	51,578,721	26,616,005	51.6	51.3	0.3
20	我 孫 子 市	34,714,572	17,871,670	51.5	53.6	2.1
21	鴨 川 市	17,909,630	4,398,056	24.6	26.4	1.8
22	鎌 ヶ 谷 市	29,458,235	12,979,080	44.1	47.8	3.7
23	君 津 市	31,306,338	16,443,404	52.5	55.1	2.6
24	富 津 市	16,037,312	9,368,799	58.4	55.8	2.6
25	浦 安 市	64,486,831	39,112,385	60.7	63.0	2.3
26	四 街 道 市	24,475,930	10,712,963	43.8	43.3	0.5
27	袖 ヶ 浦 市	21,136,479	13,437,513	63.6	62.7	0.9
28	八 街 市	19,727,911	7,031,997	35.6	37.0	1.4
29	印 西 市	36,030,616	15,050,157	41.8	44.2	2.4
30	白 井 市	17,901,336	8,673,923	48.5	48.8	0.3
31	富 里 市	14,802,749	6,030,296	40.7	45.4	4.7
32	南 房 総 市	25,441,806	3,993,115	15.7	14.6	1.1
33	匝 瑳 市	15,428,091	3,821,493	24.8	26.0	1.2
34	香 取 市	31,419,573	8,852,323	28.2	29.8	1.6
35	山 武 市	23,956,722	5,731,661	23.9	24.6	0.7
36	い す み 市	18,329,433	3,914,480	21.4	22.0	0.6

(単位:千円, %)

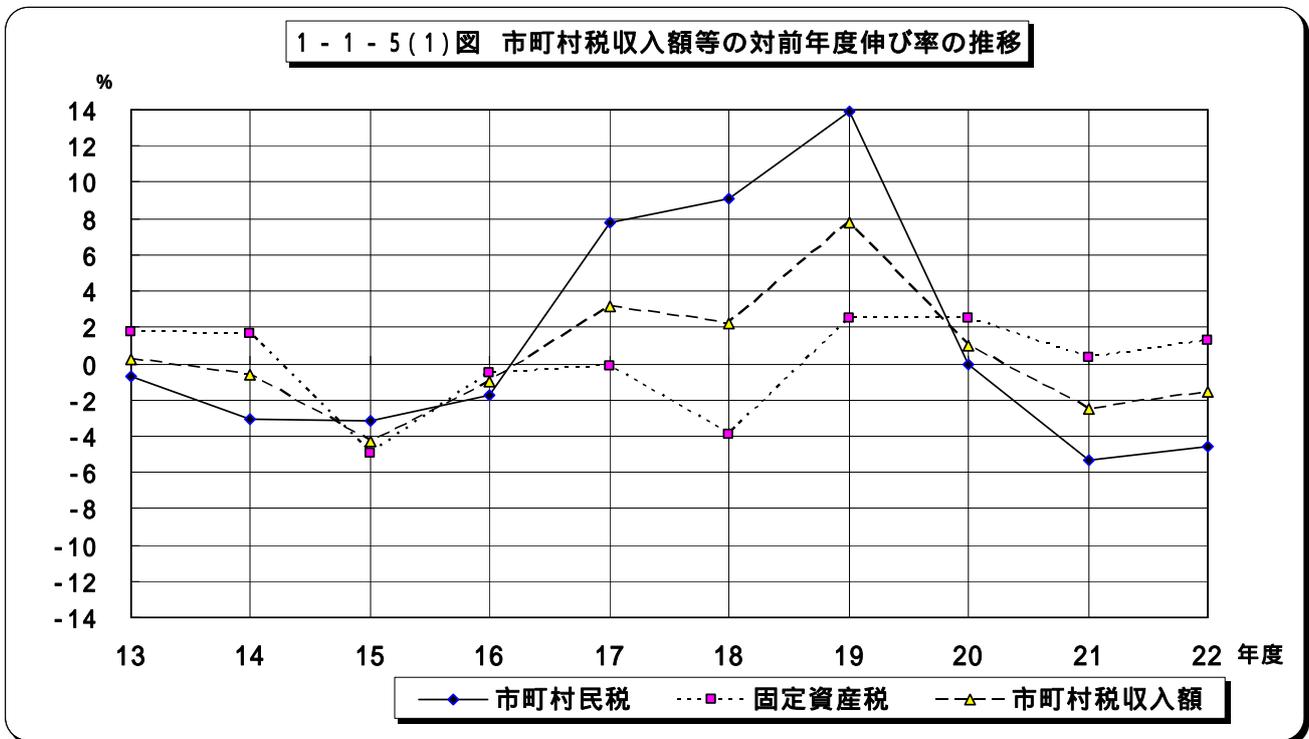
市町村名	区分	平成22年度			前年度 割合 (D)	増減 C - D
		歳入総額 (A)	税収総額 (B)	B / A (C)		
37	酒々井町	6,645,129	2,529,964	38.1	43.6	5.5
38	栄町	6,759,547	2,593,577	38.4	38.7	0.3
39	神崎町	3,067,097	808,161	26.3	28.4	2.1
40	多古町	6,095,515	2,007,563	32.9	31.7	1.2
41	東庄町	5,668,497	1,367,832	24.1	26.0	1.9
42	大網白里町	13,244,091	4,959,929	37.5	38.5	1.0
43	九十九里町	5,585,677	1,506,445	27.0	27.4	0.4
44	芝山町	5,438,016	2,385,172	43.9	48.1	4.2
45	横芝光町	10,452,487	2,385,691	22.8	22.1	0.7
46	一宮町	4,787,769	1,334,933	27.9	33.8	5.9
47	睦沢町	3,406,545	760,234	22.3	24.5	2.2
48	長生村	5,176,618	1,546,619	29.9	32.7	2.8
49	白子町	4,664,339	1,301,206	27.9	32.3	4.4
50	長柄町	3,453,016	1,198,092	34.7	31.7	3.0
51	長南町	4,363,326	1,262,225	28.9	29.1	0.2
52	大多喜町	5,622,254	1,139,770	20.3	23.9	3.6
53	御宿町	3,495,152	941,381	26.9	28.5	1.6
54	鋸南町	4,682,931	797,206	17.0	18.8	1.8
	市計	1,899,232,269	918,042,280	48.3	49.7	1.4
	町村計	102,608,006	30,826,000	30.0	31.6	1.6
	県計	2,001,840,275	948,868,280	47.4	48.7	1.3

(3) 税目別市町村税収入額の状況

税目別の収入額及び税込総額の前年度に対する伸び率は、1-1-5表及び1-1-5(1)～(3)図に示すとおりである。また、税込総額及び市町村民税と固定資産税の対前年度伸び率の推移は1-1-6表のとおりである。税込総額の伸び率は、この2つの税目の動向に大きく左右される。

ア 平成22年度の特徴

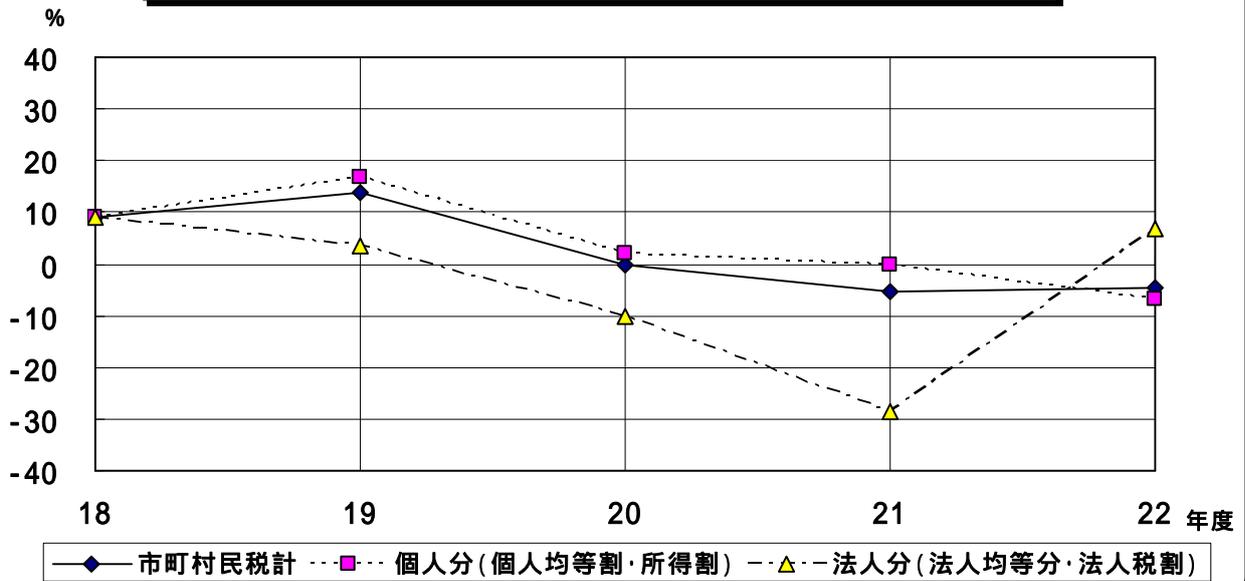
収入額の伸び率に関しては、市町村民税が-4.6%になり、税込全体(国民健康保険税を除く)の伸び率も-1.6%となった。固定資産税の伸び率は1.2%の微増。収入額は前年度より152億円減(1.6%の減)の9,489億円となった。



(ア) 市町村民税

法人分(法人均等割及び法人税割)については約39億円増加(6.7%増)したものの、個人分(個人均等割及び所得割)が、個人所得の低迷により、約253億円の減収(4.6%減)。その結果、市町村民税全体では約214億円の減収(4.6%減)となった。

1 - 1 - 5 (2) 図 税目別収入額前年度伸び率の推移 (市町村税)

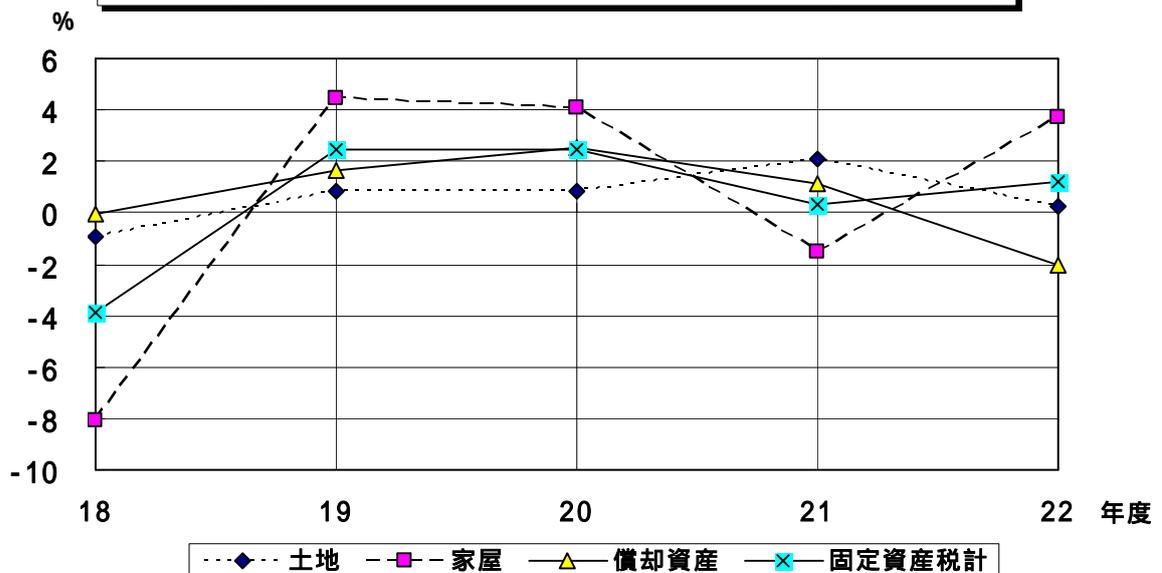


(イ) 固定資産税

土地については、約3億円の増収(0.2%の増)。家屋については、新築家屋が減失家屋を上回ったことにより、61億円の増収(3.7%の増)。また、償却資産については約16億円の減収(2%減)となった。

その結果、交納付金も含めた固定資産税総額で約48億円の増収(1.2%の増)となった。

1 - 1 - 5 (3) 図 税目別収入額対前年度伸び率の推移 (固定資産税)



1 - 1 - 5表 市町村税決算額の推移(県計)

税目	18年度決算額		19年度決算額		20年度決算額	
		対前年度 伸 率		対前年度 伸 率		対前年度 伸 率
一 普通税	845,535,096	2.7	914,516,535	2.7	922,249,045	0.8
1 法定普通税	845,535,096	2.7	914,516,535	2.7	922,249,045	0.8
(1) 市町村民税	431,483,470	9.1	491,358,106	9.1	490,908,877	0.1
(ア) 個人均等割	8,475,339	11.9	8,645,801	11.9	8,929,976	3.3
(イ) 所得割	335,038,720	9.1	391,723,322	9.1	400,352,748	2.2
(ウ) 法人均等割	15,383,759	0.2	15,796,201	0.2	15,819,608	0.1
(工) 法人税割	72,585,652	11.0	75,192,782	11.0	65,806,545	12.5
(2) 固定資産税	370,297,807	3.9	379,448,549	3.9	388,819,012	2.5
(ア) 純固定資産税	367,278,449	3.9	376,536,113	3.9	386,265,851	2.6
土地	137,422,559	0.9	138,543,080	0.9	139,735,242	0.9
家屋	154,655,165	8.1	161,565,205	8.1	168,187,227	4.1
償却資産	75,200,725	0.1	76,427,828	0.1	78,343,382	2.5
(イ) 交納付金	3,019,358	0.9	2,912,436	0.9	2,553,161	12.3
交付金	2,635,989	0.9	2,536,476	0.9	0	100.0
納付金	383,369	11.7	375,960	11.7	0	100.0
(3) 軽自動車税	5,261,048	5.1	5,548,858	5.1	5,781,874	4.2
(4) 市町村たばこ税	38,010,648	2.0	37,978,298	2.0	36,481,308	3.9
(5) 鉱産税	67,234	0.4	67,172	0.4	66,106	1.6
(6) 特別土地保有税	414,889	11.0	115,552	11.0	191,868	66.0
(ア) 保有分	362,785	17.9	90,200	17.9	163,064	80.8
(イ) 取得分	52,104	115.9	25,352	115.9	28,804	13.6
(ウ) 遊休土地分					0	
2 法定外普通税					0	
二 目的税	63,975,232	4.0	65,458,368	4.0	66,965,009	2.3
1 法定目的税	63,975,232	4.0	65,458,368	4.0	66,965,009	2.3
(1) 入湯税	324,122	26.2	360,431	26.2	355,104	1.5
(2) 事業所税	9,267,315	0.6	9,519,202	0.6	9,799,862	2.9
(3) 都市計画税	54,383,795	4.9	55,578,735	4.9	56,810,043	2.2
(ア) 土地	29,927,138	2.1	30,055,396	2.1	30,144,535	0.3
(イ) 家屋	24,456,657	8.2	25,523,339	8.2	26,665,508	4.5
(4) 水利地益税					0	
(5) 共同施設税					0	
(6) 宅地開発税					0	
2 法定外目的税					0	
三 旧法による税					333	
合計(一～三)	909,510,328	2.2	979,974,903	2.2	989,214,387	0.9
国民健康保険税	91,472,047	5.1	92,459,888	5.1	80,524,371	12.9
国民健康保険料	98,196,800	0.1	99,800,231	0.1	83,132,125	16.7
国民健康保険税・料合計	189,668,847	2.5	192,260,119	2.5	163,656,496	14.9

(単位:千円, %)				
21年度決算額	対前年度 伸 率	22年度決算額	対前年度 伸 率	区分
				税目
896,728,178	2.8	880,770,674	1.8	一 普通税
896,728,178	2.8	880,770,674	1.8	1 法定普通税
464,816,699	5.3	443,444,701	4.6	(1) 市町村民税
9,016,592	1.0	8,968,709	0.5	(ア) 個人均等割
397,510,839	0.7	372,266,203	6.4	(イ) 所得割
15,711,639	0.7	16,107,582	2.5	(ウ) 法人均等割
42,577,629	35.3	46,102,207	8.3	(工) 法人税割
390,066,500	0.3	394,860,791	1.2	(2) 固定資産税
387,477,264	0.3	392,293,482	1.2	(ア) 純固定資産税
142,634,598	2.1	142,946,653	0.2	土地
165,584,811	1.5	171,703,697	3.7	家屋
79,257,855	1.2	77,643,132	2.0	償却資産
2,589,236	1.4	2,567,309	0.8	(イ) 交納付金
0		0		交付金
0		0		納付金
6,013,035	4.0	6,185,333	2.9	(3) 軽自動車税
34,995,068	4.1	36,169,365	3.4	(4) 市町村たばこ税
66,112	0.0	64,545	2.4	(5) 鉱産税
770,764	301.7	45,939	94.0	(6) 特別土地保有税
273,062	67.5	36,159	86.8	(ア) 保有分
497,702	1627.9	9,780	98.0	(イ) 取得分
0		0		(ウ) 遊休土地分
0		0		2 法定外普通税
67,354,817	0.6	68,097,268	1.1	二 目的税
67,354,817	0.6	68,097,268	1.1	1 法定目的税
340,881	4.0	360,426	5.7	(1) 入湯税
10,170,511	3.8	10,057,780	1.1	(2) 事業所税
56,843,425	0.1	57,679,062	1.5	(3) 都市計画税
30,564,410	1.4	30,413,445	0.5	(ア) 土地
26,279,015	1.4	27,265,617	3.8	(イ) 家屋
0		0		(4) 水利地益税
0		0		(5) 共同施設税
0		0		(6) 宅地開発税
0		0		2 法定外目的税
0		338	2.4	三 旧法による税
964,083,320	2.5	948,868,280	1.6	合計(一～三)
80,187,040	0.4	78,212,925	2.5	国民健康保険税
82,600,349	0.6	82,731,555	0.2	国民健康保険料
162,787,389	0.5	160,944,480	1.1	国民健康保険税・料合計

1 - 1 - 6表 市町村税収入額等(県計)の対前年度伸び率の推移

年度	市町村民税		固定資産税		市町村税収入額	
	(千円)	対前年度 伸び率 (%)	(千円)	対前年度 伸び率 (%)	(千円)	対前年度 伸び率 (%)
平成22年度	443,444,701	4.6	394,860,791	1.2	948,868,280	1.6
平成21年度	464,816,699	5.3	390,066,500	0.3	964,083,320	2.5
平成20年度	490,908,877	0.1	388,819,012	2.5	989,214,387	0.9
平成19年度	491,358,106	13.9	379,448,549	2.5	979,974,903	7.7
平成18年度	431,483,470	9.1	370,297,807	3.9	909,510,328	2.2
平成17年度	395,341,251	7.7	385,198,040	0.1	890,003,167	3.2
平成16年度	366,910,337	1.7	385,608,984	0.5	862,704,068	1.0
平成15年度	373,325,435	3.2	387,695,013	5.0	871,421,182	4.3
平成14年度	385,606,810	3.1	408,064,078	1.6	910,607,627	0.6
平成13年度	397,893,864	0.7	401,534,212	1.7	916,556,157	0.3
平成12年度	400,838,991	2.6	394,738,430	2.3	914,139,260	2.4
平成11年度	411,501,431	3.6	404,215,835	2.9	936,327,436	0.0
平成10年度	426,945,407	9.1	392,871,569	2.8	936,608,157	3.4
平成9年度	469,919,706	5.7	381,995,792	0.2	969,843,477	3.2
平成8年度	444,701,405	0.1	381,249,239	4.3	939,905,350	1.8
平成7年度	444,996,885	4.2	365,495,009	6.3	923,394,578	4.7
平成6年度	427,050,335	12.5	343,994,418	8.1	881,930,831	3.8
平成5年度	488,171,385	3.2	318,148,312	7.3	916,393,216	1.2
平成4年度	504,307,052	3.6	296,450,626	10.9	905,317,287	6.2
平成3年度	486,751,251	6.5	267,260,499	9.8	852,412,028	7.8
平成2年度	457,046,951	8.0	243,410,872	5.4	790,413,597	7.0
平成元年度	423,050,573	12.3	230,914,220	8.4	738,974,480	7.2
昭和63年度	376,729,834	11.2	213,069,562	5.1	689,651,582	8.5

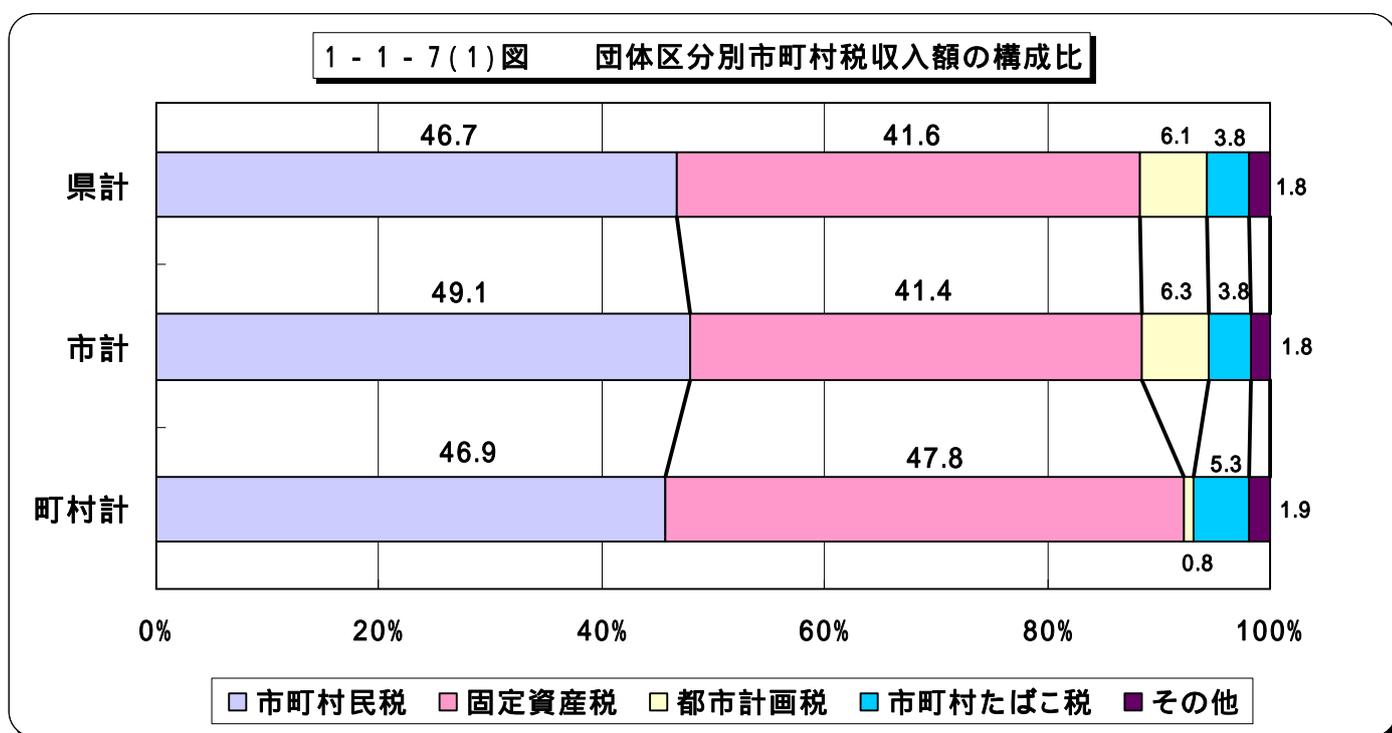
年度	市町村民税		固定資産税		市町村税収入額	
	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)
昭和62年度	338,904,567	14.7	202,765,554	6.2	635,545,364	9.9
昭和61年度	295,557,068	7.8	190,983,468	9.5	578,230,873	8.6
昭和60年度	274,099,330	12.3	174,347,649	8.8	532,460,473	10.2
昭和59年度	244,070,878	7.0	160,179,763	7.8	483,104,793	7.2
昭和58年度	228,010,027	9.9	148,531,819	10.7	450,662,831	9.5
昭和57年度	207,399,735	10.3	134,178,967	11.1	411,431,326	9.8
昭和56年度	187,952,286	14.6	120,814,498	6.4	374,825,679	11.1
昭和55年度	163,988,072	20.5	113,559,732	9.2	337,484,073	16.6
昭和54年度	136,141,073	19.2	103,982,950	13.4	289,337,175	14.5
昭和53年度	114,190,835	19.3	91,686,752	11.6	252,717,534	13.9
昭和52年度	95,696,645	16.9	82,139,158	13.6	221,921,223	17.1
昭和51年度	81,845,124	22.5	72,274,237	17.5	189,545,352	19.5
昭和50年度	66,823,675	4.3	61,527,880	23.3	158,585,090	6.3
昭和49年度	69,856,363	44.8	49,891,498	19.7	149,231,671	37.0
昭和48年度	48,229,549	36.3	41,697,737	30.0	108,896,189	34.0
昭和47年度	35,375,713	37.2	32,086,184	25.3	81,289,961	28.1
昭和46年度	25,790,995	33.9	25,606,525	29.2	63,467,309	34.0
昭和45年度	19,267,870	35.5	19,819,583	21.3	47,369,140	20.7
昭和44年度	14,216,130	21.5	16,337,792	28.2	39,254,187	24.5
昭和43年度	11,698,727	23.6	12,745,753	22.6	31,533,006	21.8
昭和42年度	9,463,097	28.2	10,396,769	19.3	25,899,054	24.6
昭和41年度	7,379,078	9.9	8,714,194	12.6	20,784,981	12.6
昭和40年度	6,714,814	24.4	7,737,166	13.8	18,460,609	17.6

## イ 税目別構成割合

### (ア) 平成22年度決算における構成割合

平成22年度の県内市町村税収入額の税目別構成割合は、1-1-7(1)図のとおりである。これによると、市町村民税が46.7%と最も高く、次いで固定資産税の41.6%、都市計画税の6.1%、市町村たばこ税3.8%の順となっている。市町村税の基幹税目は市町村民税と固定資産税であり、この2つの税で税収総額の88.3%を占めている。

また、税目別構成割合を市と町村で比較すると、市町村民税は市(49.1%)が町村(46.9%)よりも高い比率を示しているが、固定資産税は町村(47.8%)が市(41.4%)よりも高い比率を示している。



### (イ) 税目別構成割合の推移

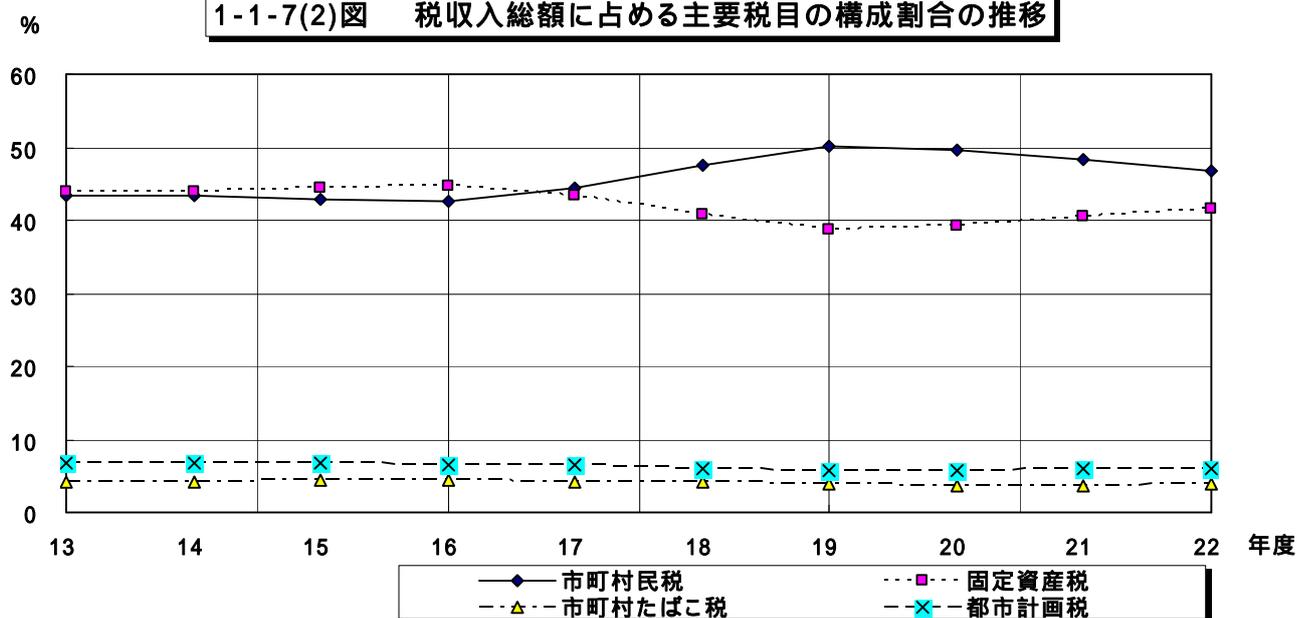
税目別構成割合の推移については、1-1-7表及び1-1-7(2)図のとおりである。市町村民税の構成割合は、平成2年度以降相対的に低下傾向にあり、17年度から19年度にかけては上昇したが、22年度も昨年度に続いて低下し、前年比で1.5ポイント減の46.7%となった。

一方、固定資産税の構成割合は9年度から16年度までは相対的に上昇した後、17年度より低下傾向を示していたが、20年度より再び上昇し、前年度比で1.1ポイント増の41.6%となった。

1-1-7表 税収入総額に占める税目別構成割合の推移

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
市町村民税	43.4	42.3	42.8	42.5	44.4	47.4	50.1	49.6	48.2	46.7
個人	36.2	36.1	36.0	35.1	35.4	37.8	40.9	41.4	42.2	40.2
法人	7.2	6.2	6.8	7.5	9.1	9.7	9.3	8.3	6.0	6.6
固定資産税	43.8	44.8	44.5	44.7	43.3	40.7	38.7	39.3	40.5	41.6
純固定資産税	43.5	44.5	44.2	44.3	42.9	40.4	38.4	39.0	40.2	41.3
土地	17.3	16.9	17.1	16.6	15.6	15.1	14.1	14.1	14.8	15.1
家屋	17.6	18.5	17.9	18.8	18.9	17.0	16.5	17.0	17.2	18.1
償却資産	8.7	9.1	9.2	9.0	8.5	8.3	7.8	7.9	8.2	8.2
交納付金	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
軽自動車税	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7
市町村たばこ税	4.1	4.0	4.3	4.4	4.2	4.2	3.9	3.7	3.6	3.8
特別土地保有税	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
事業所税	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1
都市計画税	6.7	6.8	6.7	6.6	6.4	6.0	5.7	5.7	5.9	6.1

1-1-7(2)図 税収入総額に占める主要税目の構成割合の推移



## ウ 税目別伸長状況

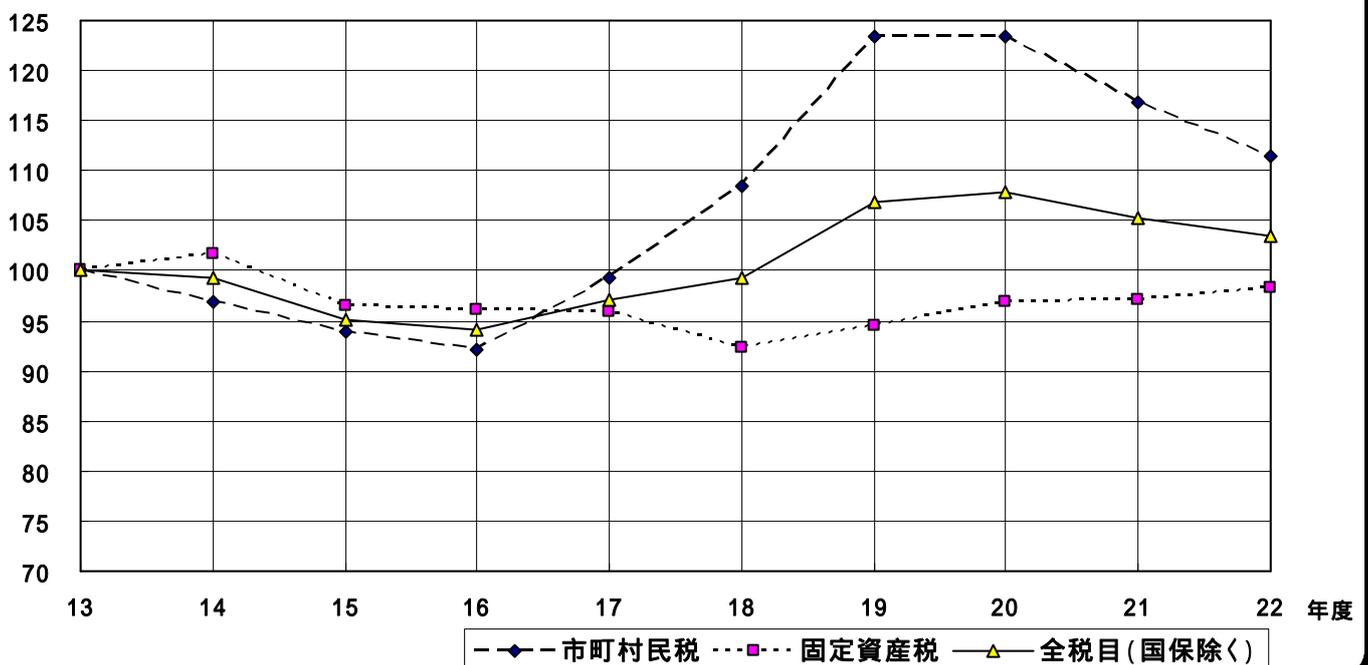
税目別伸び率を平成13年度における市町村税収入額を100とした指数で表すと、1-1-8(1)図のとおりである。これによると、22年度は市町村民税及び全税目(国保を除く)においては13年度の指数を上回っているが、固定資産税は下回っている。

市町村民税、固定資産税の内訳は、1-1-8(2)、(3)図のとおりである。市町村民税では景気変動の影響を受けやすい法人税割の変動が著しく、11年度の恒久的な減税により法人税率が引き下げられた影響で近年の企業収益の改善を受けて上昇傾向となっていたが、22年度は前年比で0.3ポイント増となった。

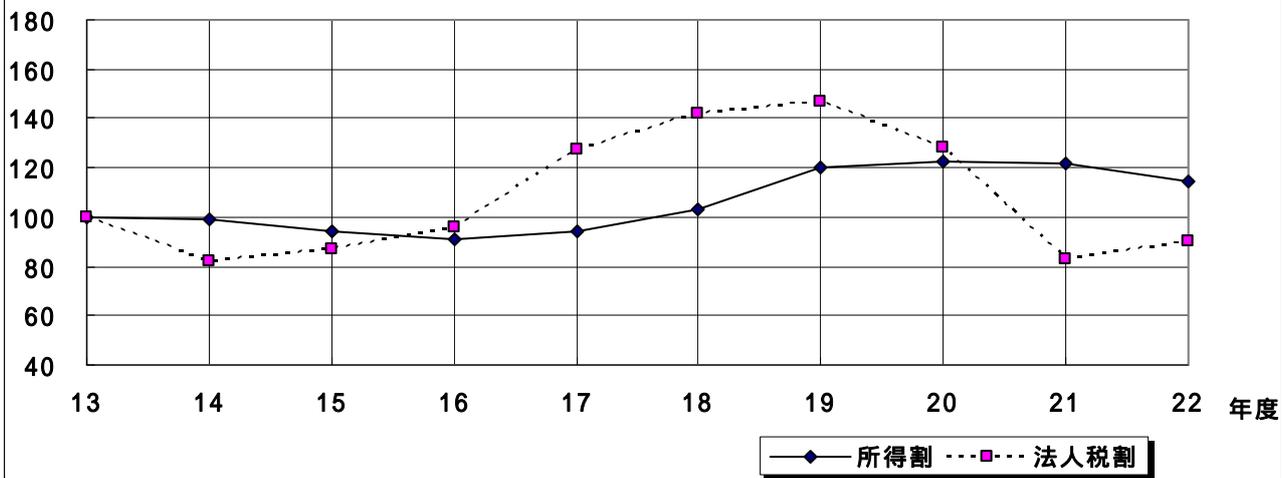
所得割については、11年度から16年度までは恒久的な減税と長引く景気低迷による所得減少の影響により低下していたが、17年度からは上昇に転じ、18年度には定率減税の1/2廃止、19年度には定率減税の全廃及び所得税から個人住民税への税源移譲があり、上昇傾向が見られていたが、22年度の伸び率は6.4ポイント減少した。

また、固定資産税については、土地は、12年度以前から、地価の下落の影響等により、低下傾向であったが、18年度より多少持ち直し、22年度は1.2ポイント上昇した。家屋は12年度、15年度及び18年度の評価替え年度は在来分家屋の経年減価の影響等によりマイナスとなっていたものの、22年度は0.9ポイント増加した。償却資については、19年度以降は上昇していたが、22年度は4年振りに減少した。

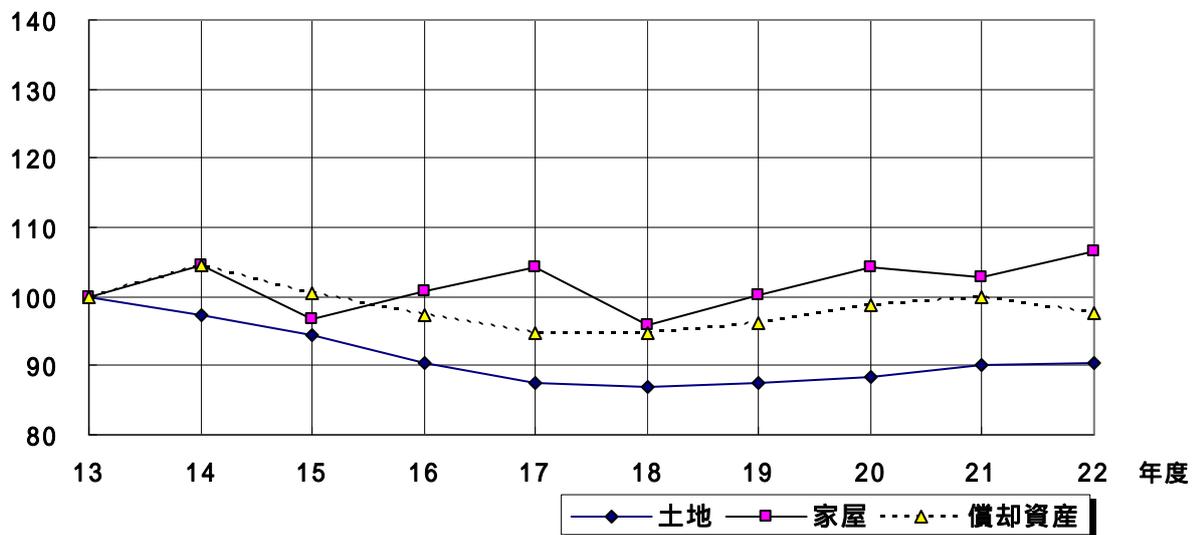
1-1-8(1)図 基幹税目及び税収総額の伸び率(平成13年度を100とした場合)



1-1-8(2) 図 市町村民税収入額の伸び率(平成13年度を100とした場合)



1-1-8(3) 図 固定資産税収入額の伸び率(平成13年度を100とした場合の数値)



(4) 税源拡充の状況

ア 超過課税の状況

平成22年度は24市が法人市町村民税について超過課税を実施している。内訳は、法人均等割3市、法人税割24市となっている。

超過課税における増収額及び近年の推移は、1-1-9表及び1-1-9図のとおりで、平成22年度は総額50億5百万円となっており、前年度と比較して1億2千2百万円増加している(2.5%の増)

イ 法定外税の状況

法定外普通税については、昭和45年度から平成11年度まで君津市、富津市において「山砂利採取税」を課税していたが、平成12年度以降においては県内で法定外普通税を課税している団体はない。

また、平成12年4月に創設された法定外目的税についても、これまで県内で課税している団体はない。

1-1-9表 法人市町村民税の超過課税による増収額

(単位:百万円, %)

年度	超過課税による増収額			法人市町村民税の収入額 B	A / B
	法人均等割	法人税割	計 A		
16	166	5,439	5,605	64,295	8.7
17	179	8,021	8,200	80,719	10.2
18	171	9,086	9,257	87,969	10.5
19	175	8,994	9,169	90,989	10.1
20	172	7,709	7,881	81,626	9.7
21	167	4,716	4,883	58,289	8.4
22	172	4,833	5,005	62,210	8.0

1-1-9表 法人市町村民税の超過課税による増収額の推移

